

logicool[®]

大きな会議室。
大きな期待。
大きなチャンス。

より大きく、より複雑な会議スペース
に関する課題を、高品質ビデオ会議ソ
リューションで克服しましょう。

より大きなスペースでは、優れたコラボレーション体験の提供がなぜ難しいのでしょうか？

今日のオフィスでは、すべての会議室において、余計な手間をかけることなく高品質な会議体験を提供することが求められています。ただし、研修室、会議室、全員が集まるエリアなどのより大きなスペースは、今までビデオ会議を最優先に設計されていませんでした。こういったスペースは、他の会議室ほどシンプルではありません。

そのため、これらスペースの複雑なレイアウトにより、以下のようなカバレッジの複雑さや導入が悩みの種になります。

- 家具の配置や部屋のレイアウトが日によって変わることの場合、会議用カメラはどこに設置すればよいのでしょうか？
- 可動式デスクに設置できないマイクはどこへ配置すべきでしょうか？
- 複数の壁に大型ディスプレイを設置したり、スピーキングエリアを設けたりするなど、室内ごとの要件に合わせてスペースが設計されている場合はどうなるでしょう？



IT および施設のチームにとって、より大きなスペース、多目的レイアウト、特定の設置要件のある会議室は、シームレスな体験の提供を極めて困難にします。

リモートでの参加者にとって、会議室における進行に追いつけないことは、ハイブリッド会議でよくある課題の1つです。業界の調査によると、参加者62%が相手の声をはっきりと聞き取れず、31%がボディランゲージや場の空気を読み取れず、3人に1人は自分の声を届けるのが難しいと感じています。¹

より広く複雑なレイアウト環境では、室内の会話を捉えるのが困難になり、人や家具が移動するにつれて、状況はさらに難しくなります。

一方で、あらゆる角度からスペースをカバーしようと機器を追加すると、設置と管理の複雑さが増し、IT部門の作業負荷が増大します。さらに、ケーブル、ハブ、ハードウェア類による雑然とした状態が、これらの高価値スペースの洗練されたデザインを台無しにします。

多くの場合、こういった複雑なスペースでは、設置の柔軟性や、そのスペースに合わせて体験をカスタマイズできるモジュール式 AV ソリューションを選ぶことができます。

このような課題の多いスペースであっても、優れたビデオ会議体験を提供することは決して難しいことではありません。本 eBook では、インテリジェントなモジュール式ビデオシステムが、よくある職場の問題解決にどのように役立つかをご紹介します。



大型で複雑なスペースには、よりスマートなカメラ設置が必要

大型でハイブリッド対応の会議室では、家具の配置にとらわれず、ユーザーの実際のスペースの使い方に合わせてデバイスを配置することが最も効果的です。

逆に、本来その用途向けに設計されていない会議室に標準のビデオソリューションを無理に導入すると、ほとんどの場合、望ましくない結果になってしまいます。奥行きのある広い部屋の一端にカメラやビデオバーを1台設置しただけでは、スペース全体を映したり、声をクリアに捉えたりすることはできません。

位置が固定されていると、プレゼンターの動きや室内でのやり取りが見えにくくなります。人々が立ってプレゼンテーションを行ったり、着席してディスカッションをしたりするようなスペースでは、複数の視点から状況を最適にキャプチャすることが求められます。

1台のカメラでは、奥行があり広いスペースをカバーしきれず、視認性や音声収録能力が低下する可能性があります。さらに、人が家具を動かしたり、特定のエリアに立ってプレゼンやコラボレーションを行ったりする場合、追加でのマイクや卓上カメラの設置が難しい場合もあります。

ここで朗報です。こういったすべての課題は、適切なアプローチがあれば簡単に解決できます。





課題のあるスペースでビデオ体験を改善するための5つのステップ

以下の5つのステップは、最新のモジュール式システムを活用し、最も複雑な会議室環境でもコラボレーション体験を向上させるのに役立ちます。

1 その会議室の最も一般的な使用シナリオを理解する

人々は主に内側を向いて着席していますか、それとも動き回っていますか？プレゼンテーションや立ち上がっての説明はありますか？人々の動きや部屋内の行動をどのようにキャプチャする必要があるかを理解することで、スペースを最適に設計し、機器を装備することができます。

2 人々とその動きをキャプチャできるようカメラを設置する

プレゼンターと参加者の両方が見えるよう、視線、座席の奥行き、プレゼンゾーンに合わせてハードウェアを配置します。

3 複数のカメラを使用して複数の角度から撮影する

長いテーブル、奥行きのある座席の列、またはアクティブなプレゼンターのために視点を追加し、リモートでの参加者が自然な形で全体の会話を把握できるようにします。

4 インテリジェントなフォーカスとフレーミングを選択する

プレゼンターを中心とするトラッキングやスピーカーフレーミングなど、柔軟でインテリジェントなオプションをユーザーに提供することで、手動での介入を必要とせずに広いスペースでのアクションもクリアにキャプチャできます。

5 柔軟かつ安全な設置のために、取り付けや延長用オプションを検討する

部屋のレイアウトを考慮し、用途に応じたマウントや延長ケーブルを選ぶことで、ハードウェアを目立たせることなく、モジュール式システムを独自のレイアウトに柔軟に適応させることができます。

Rally AI Camera Pro と Rally AI Camera により、高価値かつ複雑なスペースでも 優れたビデオ体験を実現

モジュール式セットアップが、さまざまなスペースに対応できる高品質な体験をお届けします。

Rally AI Camera Pro と Rally AI Camera は、インテリジェントなフレーミング、優れた光学性能、柔軟な配置オプションにより、複雑なスペースや特定用途向けのスペースにも最適な形で統合が可能です。どちらのカメラも AI を活用した高品質のビデオ体験を実現し、いずれのモデルも異なる部屋の要件に対応し、連携して動作するよう設計されています。



Rally AI Camera Pro

より大きく複雑なスペース向けに設計され、高い光学性能を備えたインテリジェントな PTZ カメラです。



高価値かつ複雑なスペース向けに最適化済み

Rally AI Camera Pro は、優れたビデオパフォーマンス、柔軟な配置、精確なコントロールが求められるより大きく動きのある会議室向けに設計され、USB または1本の Cat ケーブルで設置できます。

すべての詳細をキャプチャ

Rally AI Camera Pro は光学ズームとデジタルズームを組み合わせて15倍のハイブリッドズーム²を実現し、広いスペースでも参加者やプレゼンターをクリアに捉えます。

リモートでの参加者でも会議を簡単にフォロー

Rally AI Camera Pro は、プレゼンター表示とモーター駆動 PTZ を備えた RightSight 2 を使用することで、スピーカーとプレゼンターを広い部屋でも確実にフレーミングし、人々がカメラから離れた場所にいたり、焦点間を移動したりする場合でも会話を追いややすくなります。

マルチカメラ体験に対応

Rally AI Camera Pro は、複数の角度からプレゼンター、講師、参加者を捉える時でも、マルチカメラ構成で優れた効果を発揮します。Zoom インテリジェント ディレクターや Microsoft Teams などのマルチカムビューに対応するマルチカメラ機能により⁴、リモートでの参加者は会議室の状況をより包括的かつ没入感を持って把握できます。

Rally AI Camera

優れた光学性能と AI ベースの RightSight 2フレーミングを備えたインテリジェントかつ目立たないカメラにより、会議の全員がクリアに映し出されます。



スペースに自然に調和

Rally AI Camera は、目立たず多様な設置方式に対応する形状を採用しており、インテリジェントな映像を提供します。壁への直接取り付けはもちろん、オプションのウォールマウントを使用した場合でも現代的な空間に自然になります。

全体を把握

広角センサーと広い視野角に加え、デジタルズームにより、PTZ システムを必要とせず、中型や大型の部屋でも鮮明かつ適切にフレーミングされた映像を届けることができます。

会議の流れを把握できる設計

Rally AI Camera は RightSight 2⁵ を使用して会議の参加者をフレーミングし、全員が画面に映るようにします。そのため、リモートでの参加者に、より適切かつ公平な会議体験を提供できます。

マルチカメラ構成を強化

Rally AI Camera は、1台でも、複数の角度から参加者を捉えたい場合にはマルチカメラ構成でも使用できるように設計されています。Zoom インテリジェントディレクターや Microsoft Teams などのマルチカメラビューに対応するマルチカメラ機能により⁶、リモート参加者は会議室の状況をより包括的に把握できます。



スペースに合わせて ビデオとオーディオ をカスタマイズ

より複雑なスペースや特殊なスペースの場合、そのニーズが必ずしも標準機能で対応できるとは限りません。

モジュラー式のビデオ会議システムを導入すれば、そのスペースの使用方法に合うよう、最適なビデオとオーディオのセットアップをカスタマイズできます。

研修室や教室

Rally AI Camera Pro が前方のプレゼンターを追跡し、2台目の Pro カメラが側面からの参加者をキャプチャします（後方で撮影すると頭の後ろしか見えないため、後方からは撮影しません）。

奥行きのある会議室

会議室では、Rally AI Camera Pro を正面に配置することで、テーブルの奥に座っている人を最適な倍率で捉えることができます。さらに、横並びの参加者を的確に捉えるために、側壁へ追加の AI カメラを設置する構成も有効です。

全員が集まるスペースやイベントスペース

Rally AI Camera Pro はメインプレゼンターを捉え、追加の AI カメラは聴衆やサブスピーカーを表示し、より一体感のある体験を提供します。

優れた会議は、優れたカバ レッジだけでは実現しない

Rally AI Camera Pro と Rally AI Camera は、大型で複雑なスペースに対応するだけでなく、ロジクールならではの従業員にも IT 部門にも使いやすい体験を提供します。



シームレスなプラットフォームとの互換性

どちらのカメラも、Microsoft Teams や Zoom Rooms などの主要なビデオプラットフォームと連携しており、組織がすでに活用している会議ツールやインテリジェント機能を活用できます。



集中型のリモート管理

これらの AI カメラやその他のロジクールデバイスをロジクール Sync を通じて管理できます。追加のコンピュータデバイスを接続することなく、ネットワークに直接接続して管理します。



オーディオシステムとの相互運用性

これらの AI カメラをロジクール Rally スピーカーやマイクポッド、またはロジクールパートナーの認定プロオーディオシステムと組み合わせ、各会議室に最適なオーディオ体験を実現します。



利用状況に関するインサイト

内蔵された在室検出機能により、スマートな予約の自動化が可能になり、「ゴースト会議（誰も来ない会議）」を減らすとともに、スペースの使用率を向上させます。こういったインサイトは、IT や施設のチームがより効果的にレイアウトを計画し、職場のニーズに応えるのにも役立ちます。



一貫性のある会議体験を実現する

両カメラとも、スケーラブルで導入も簡単なため、会議スペースからグローバルなオフィスの拠点全体にわたり、高信頼性かつ高品質なコラボレーション基準を実現できます。



より優れた会
議。よりスマ
ートなスペース。
より満足度の高
いチーム。

複雑なスペースであっても、ビデオ対応システムの導入はもう面倒ではありません。インテリジェント機能を備えたモジュール式システムを選ぶことで、会議室の用途やデザインに合わせて容易に適応できるため、非常に扱いやすいスペースであっても、コラボレーションが活発に行われる場所へと変わります。

柔軟な配置、インテリジェントなフレーミング、明確なカバレッジにより、Rally AI Camera Pro と Rally AI Camera はモジュール式システム内で連携し、魅力的かつ高品質なビデオ体験をチームに提供します。

従業員はより魅力的なハイブリッド体験を活用し、IT部門は導入と管理が容易なソリューションを手に入れ、企業は本来あるべき姿で機能する会議スペースのメリットを享受できます。



複雑なスペースの課題に立ち向かう 準備はできていますか？

Rally AI Camera Pro と Rally AI Camera が大型の会議室のモダナイズと最適化にどのように役立つかについては、当社までご連絡ください。

お問い合わせ

1. Barco
2. 15倍ハイブリッドズームは、5倍光学式ズームと3倍デジタルズームの組み合わせによって実現します。
3. すべての機能がリリース時に利用可能とは限りません。
4. これは、使用中のプラットフォームにより異なります。
5. すべての機能がリリース時に利用可能とは限りません。
6. これは、使用中のプラットフォームにより異なります。

logicool. for business

右記のリンクからお問い合わせください。

Logitech Europe S.A.

株式会社ロジクール

[https://www.logicool.co.jp/ja-jp/
business/contact-b2b.html](https://www.logicool.co.jp/ja-jp/business/contact-b2b.html)

購入後のお問い合わせ :

株式会社ロジクールカスタマーリレーションセンター

<https://prosupport.logi.com/>

© 2026 Logitech, Logicool. All rights reserved.株式会社ロジクールは、Logitech Group の日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に記載されている製品、価格、および機能情報は、予告なく変更される場合があります。

発行：2026年1月